

Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 376

2022年9月15日発行／みやぎ憲法九条の会

仙台市青葉区柏木1丁目2-45 フォレスト仙台5F

Tel : 022-728-8812 FAX : 022-276-5160

<http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/> mail:info@9jou.jp

声 明

安倍元首相の「国葬」に反対し、撤回を求めます

2022年9月12日

みやぎ憲法九条の会

岸田内閣は7月22日の閣議により、安倍元首相の「国葬」（9月27日、日本武道館）を行うこと、その費用は国費とすることを決定しました。国葬開催については、国民の半数以上から反対の声が上がっていますが、見直す意向は示されていません。

私たちは、以下の理由から、安倍元首相の「国葬」に反対し、撤回を求めます。

- ① 法的根拠が無く、また判断の基準も示されないまま、多額の国費を要する「国葬」が国会にも諮らずに閣議のみによって決定されている。
- ② 「国葬」の理由の一つとして「歴代最長の期間、総理大臣の重責を担い、内政・外交で大きな実績を残した」としている。政治家の功績について国民の間で評価が異なることは当然であり、特定の政治家に対して「国葬」を行うことは、すなわち賛美することは、法の下での平等に反する。また、結果的に何らかの弔意を促すことは、内心の自由を侵害するものである。
- ③ さらに「国葬」は、政府が特定の政治家についてその業績を一方的に高く評価し、その評価を国是として広く一般国民にも同調を求めることになる。
- ④ みやぎ憲法九条の会は、安倍元首相の在任中に行われた「集団的自衛権行使を容認する閣議決定」、「安全保障関連法の制定」等について、立憲主義および憲法の基本理念に反するという立場から反対声明を発し、現在でもこれらの廃止を求めている。これらは断じて評価・容認できない安倍元首相の「実績」である。
- ⑤ さらに安倍元首相は、在任中および退任後も「憲法9条への自衛隊の明記」、「緊急事態条項の設置」等の改憲や「敵基地攻撃能力保有」、「防衛予算の大幅増」等を声高に主張している。今後の国会において争点となり得るこれらの議論においても、安倍元首相の意見を国是のように取り扱いかねない「国葬の政治利用」が懸念される。

以上

憲法改悪をゆるさない全国署名(9/5 現在)

宮城県内 9 条の会連絡会 : 2,895 筆 他団体 : 6,187 筆

合計 : 県民運動推進連絡会みやぎ集約 : 9,082 筆

署名活動は継続しています。署名欄付きハガキを署名用紙ともども増刷りをしています。宮城県内九条の会連絡会に参加されている地域九条の会には必要枚数お送りしますので、みやぎ憲法九条の会事務局までお申し込みください。

みやぎ憲法九条の会: 〒981-0933 仙台市青葉区柏木 1-2-45
フォレスト 5F

☎022-728-8812 mail:info@9jou.jp

* 署名は県名よりしっかり書きましょう。「●●市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」「〃」は不可です。国会提出時に大変な苦勞となっています。よろしく願いいたします。



宮城県内九条の会連絡会の街頭宣伝は毎週火曜日

場所 : 仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。

時間 : 12 時から 13 時まで。

実施日 : 9 月の実施日は 27 日。9 月 20 日はお休みします。10 月度は 4 日、11 日、18 日、25 日。

9 月の「19 日行動」

19 日行動は 2015 年 9 月 19 日に 9 条に違反する「安保法制強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている運動です。

●仙台市 : 9 月 19 日 (月祝) 12:00~13:00 場所 : 仙台市中央通東二番丁平和ビル前

武力で平和はつukれない!

安保法制から7年

9.19 街頭宣伝

9/19 (月/休) 12:00~13:00 平和ビル前

自衛隊を戦争に送らない!

この9月19日で、安保法制(戦争法)が強行成立されてから7年となります。岸田政権は「台湾有事」の可能性などを口実に敵基地攻撃能力の保有を進めています。いわば先制攻撃です。安保法制はそれを可能にするための法制でしたが、戦争放棄を定めた憲法9条に反することは明らかです。違憲の安保法制の発動や、安保法制を合法化するための9条改憲に反対する声を大きく広げていきましょう。

私たちは「戦争法」である安保法制の廃止を求めています。

・野党共闘で安保法制を廃止するオールみやぎの会 022-724-7627
・宮城県内九条の会連絡会 022-728-8812
・戦争政策反対宮城県民連絡会 022-234-1335
・県民運動連絡会みやぎ 080-8206-3511

●石巻市：9月19日(月祝) 16:00~17:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点

●涌谷町：9月20日(火) 13:00~13:30 場所：涌谷公民館前交差点

(19日が土日に当たる場合は第3月曜日ですが今回は19日が月祝のため)

●小牛田：9月19日(月祝) 13:00~13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点

●気仙沼市：9月19日(月祝) 11:00~11:30 場所：クボ店前

●名取市：9月19日(月祝) 13:00~ 場所：名取駅西口前

●岩沼市：9月19日(月祝) 15:00~15:30 場所：岩沼駅前

10月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない!」Day!!

・午後1時キッカりに「アベ政治を許さない!」ポスターを掲げましょう。

●名取市：ヨークベニマル愛島店前交差点付近

●涌谷町：涌谷公民館前交差点

●宮城野区：坂下交差点

●小牛田：国道108号山の神神社前交差点

9月の「9の日行動」加美九条の会

・「9の日行動」は憲法九条の改憲を許さないと市民に訴える活動で「加美九条の会」も継続している活動です。9日、19日、29日のいずれかの日を選んで毎月継続して実施しています。

●加美：9月29日（木）7時30分～ 場所：加美町中新田矢越交差点

【これからの県内催事情報】

戦争を語り継ぐ上映会（9月度第2回）

「そして学徒は戦場へ」～出陣学徒壮行会 1943年10月21日～

同時上映：「本土復帰 沖縄の過去と今」

10万人が徴兵されたとも言われる学徒出陣。「国家の存亡のために欠くことができない存在」だと位置づけられていた学問や学徒が、徴兵猶予という“特権”を「停止すべきだ」と、批判される存在へと変貌していった。その過程でいったい何が起きていたのか。当時の国や大学の関係者、学徒など、およそ100人に及ぶ関係者の取材を通して、その真相に迫り、今につながる教訓を考える。

日時：9月22日（木）13:00～15:00（参加費：無料）

会場：泉病院友の会・友の会ホール（仙台市泉区長命ヶ丘2-1-1）

主催：泉病院友の会平和の委員会

申込先：泉病院友の会378-3883 定員10名（要事前申込）

* ご参加の方は、マスクの着用をお願いします。感染症状況により中止となる場合もあります。

安倍元首相の「国葬」を考える市民のつどい記念講演

「安倍政治を検証する」

呼びかけ人(7/29現在)：佐久間敬子(弁護士)、布田秀治(日本キリスト教団いずみ愛泉教会牧師)、立石美穂(とめよう戦争への道！百万人署名運動宮城県連絡会)、高橋輝雄(弁

護士)、宇部雄介(弁護士)、大橋洋介(弁護士)、小幡佳緒里(弁護士)、佐藤由紀子(弁護士)、高橋正行(宮城県高等学校・障害児学校教職員組合執行委員長)。多く方が「市民の集いの呼びかけ人」に参加していただくことをお願いしています。

日時：9月23日(金祝)14:00開会

会場：宮城野区文化センターPaToNa ホール(仙台市宮城野区五輪2-12-70 仙石線原町駅脇)

講師：斎藤貴男さん(フリージャーナリスト、マスコミ九条の会呼びかけ人)

参加費：無料

■賛同のお願い 集会運営のために賛同にご協力ください。(個人一口1000円、団体一口3000円)

主催：市民の集い実行委員会

連絡先：022-267-2288(佐久間敬子法律事務所)、080-2801-9778(布田)

e-mail：0927kokusou@gmail.com

戦争を語り継ぐ上映会(10月度第1回)

「原爆が奪った未来」～中学生8千人・生と死の記録～

同時上映「侵略リポート～繰り返される侵略と支配～」

77年前、広島に投下された原子爆弾。軍の主導で、空襲の延焼を防ぐための作業に動員されていた中学生8000人が大きな被害を受けた。学校などに保管されていた膨大な資料から、6000人も命が奪われていった実態が明らかになった。子どもたちの“命の記録”から、核兵器がもたらす脅威と、守るべき尊い未来を奪っていく戦争の現実迫る。

日時：10月3日(月)13:00～15:00(参加費：無料)

会場：泉病院友の会・友の会ホール(仙台市泉区長命ヶ丘2-1-1)

主催：泉病院友の会平和の委員会

申込先：泉病院友の会 378-3883 定員10名(要事前申込)

*ご参加の方は、マスクの着用をお願いします。感染症状況により中止となる場合も。

映画公開案内

「原発をとめた裁判長」ーそして原発をとめる農家たち

我が国の原発の耐震性は極めて低い。原子力発電の危険性を伝えるために人生をかける元裁判長、放射能被害で一度はあきらめた農業を太陽光発電とともによみがえらせる福島の人々、使命を持った者たちの意思がスクリーンにみなぎる！！

監督：小原浩靖 出演：樋口英明(元裁判長)、河合弘之(弁護士)、近藤 恵(二本松営農ソーラー)、飯田哲也(環境学者)

期間：10月7日(金)～10月13日(木)

上映時間 1回目 10:30～ 2回目 18:00～

会場：フォーラム仙台(仙台市青葉区木町通2-1 022-278-7866)

入場料：一般1800円、学生1500円(要学生証)、シニア1200円(60歳以上、要年齢証明)

チケット前売り：こ～ぷ文化観賞会事務局 泉区八乙女4-2-2 (0120-978-108)

月～金曜日 9:30～17:30 日祝休み

戦争を語り継ぐ上映会(10月度第2回)

「沖縄戦争孤児」～孤児3千余人の苛酷な戦後史～

同時上映「オキナワ1967年～“18歳の発言”から55年」

地上戦に巻き込まれ、目の前で父と母を亡くした沖縄の戦争孤児。終戦前後は米軍が孤児院で保護したが、その後は孤立無援で生きた過酷な戦後。幼くして孤児となったため、自分の名前も出自もわからず、いくつもの家を転々とした人。戦争中に餓死した妹を救えなかったトラウマに今も苦しむ人。初めて語られる証言から、今も続く戦争の傷あとを描く。

日時：10月17日(月)13:00～15:00 (参加費：無料)

会場：泉病院友の会・友の会ホール(仙台市泉区長命ヶ丘2-1-1)

主催：泉病院友の会平和の委員会

申込先：泉病院友の会 378-3883 定員10名(要事前申込)

* ご参加の方は、マスクの着用をお願いします。感染症状況により中止となる場合も。

憲法 9 条を守り生かすみやぎのつどい 2022

「メディアの現場から見る戦争と平和・憲法(仮題)」

3年ぶりのサンプラザでのつどいとなります。7月の参議院選挙の結果、改憲を目指す4党が衆参両院で3分の2の議席を確保することになりました。岸田首相は、選挙結果を受けて銃撃され死去した安倍晋三元首相の改憲の「思いを受け継ぐ」として「できる限り早く発議に至る取り組みを進める」と述べています。

日時：11月3日（木・祝）13：00～15：00 （参加費：無料）

会場：仙台サンプラザ大ホール

講師：金平茂紀さん(ジャーナリスト、TBS キャスター)

対談：講演終了後、池田香代子(ドイツ文学翻訳家・九条の会世話人)と金平さんの対談をします。

入場：無料、どなたでも参加できます。

主催：みやぎ憲法九条の会 協賛：宮城県内九条の会連絡会

お問い合わせ：みやぎ憲法九条の会 022-728-8812 E-mail: info@9jou.jp

【県内九条の会の活動】

宮城県内九条の会連絡会

「参院選の結果と私たちの運動、9条の価値を力に！」

9月3日（土）フォレスト仙台2階第7会議室で宮城県内九条の会の総会と9条の会事務局の小森陽一東京大学名誉教授の記念講演会を開催しました。

小森さんは事情により仙台に来ることができなくなり、Zoomを使ったWeb講演会となりました。参加者はZoom視聴者34名、会場に106名の方がおいでになり盛況な講演会となりました。講演会終了後も活発な質疑応答が交わされました。

小森さんはロシアのプーチンによるウクライナ侵略について、歴史を遡って解明してくれ、戦争の口実となった二国間安全保障条約と集団的自衛権の問題点を指摘しました。また、プーチン大統領が「核兵器」の使用をほのめかして世界を恫喝していることに触れ、核兵器による「集団的自衛権」体制で平和は守れないと強調しました。



改憲派がロシアのウクライナ侵攻を奇禍としてアメリカとの同盟強化や敵基地攻撃のできる武装強化を声高に主張しています。岸田文雄政権が安倍・菅政治を受け継いで9条改憲策動を強めていることを打ち破らなければいけないと強調しました。

この運動を進める上で、安倍元首相死去後、いち早く「国葬」を閣議決定して安倍政治の闇を葬ろうとしている岸田首相の狙いについて指摘し、九条改憲阻止の闘いを進める上でも、憲法違反の「国葬」に反対する運動と結び付けて市民との対話を進める大切さを強調して講演を結びました。

また、講演会終了後の総会にも30名の各9条の会の代表が参加し、2022年度の活動報告と2023年度の活動計画が満場一致の拍手で確認されました。

市民アクション in みやぎ実行委員会

安倍元首相の「国葬」に反対するの市民集会に350人！！

法定根拠の不在、内心の自由の侵害、法の下での平等の軽視、そして「モリ・カケ・サクラ疑惑」は解明されておらず、安倍氏への政治的な評価が定まっていないこと等の問題が指摘の中強行されようとしている「国葬」に反対する市民集会が9月4日(日)に仙台市青葉区元鍛冶町公園で開催され350人が



参加しました。みやぎ憲法九条の会も参加する「国葬」に反対する実行員会みやぎ(32 団体参加)が主催したもので、集会では実行委員会に参加する団体代表の報告があり、みやぎ憲法九条の会では共同代表の芳賀唯史さんが決意表明をしました。

民主党参議院議員石垣のり子さん、日本共産党宮城県委員会副委員長ふなやま由美ゆみさんなど立憲野党の代表の連帯のあいさつがありました。